


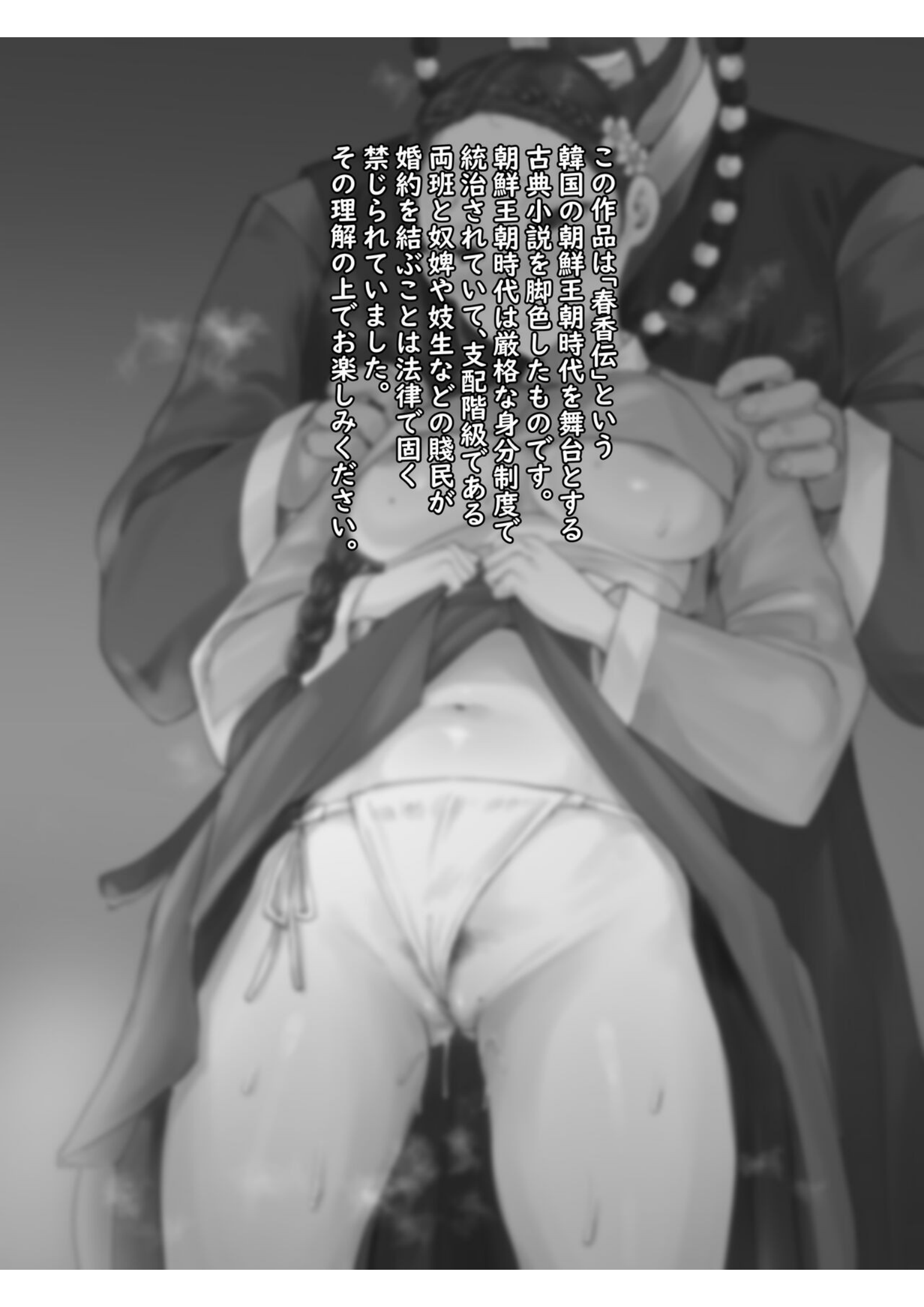
R 18
adult only



SPRING FRAGRANCE







この作品は「春香伝」という
韓国の朝鮮王朝時代を舞台とする
古典小説を脚色したものです。
朝鮮王朝時代は厳格な身分制度で
統治されていて、支配階級である
両班と奴婢や妓生などの賤民が
婚約を結ぶことは法律で固く
禁じられていました。
その理解の上でお楽しみください。

春香は卞府使チュニヤンピョンフシの
お伽を務めよ

夢龍モンリョウ...

私は妓生キセンではございません

私には既に将来を約束した
お相手があります

こんなこと...
恥ずかしいとは思わないのですか？

くくく

小娘の分際で
府使に説教か！

あれから二年...

※府使:昔の韓国で二つの地方を
統括する文官。偉い人。
※妓生:昔の韓国で日本の芸者に
該当する遊女。

どうして何の連絡も
くれないのですか？



おおお……！

そんなに……



見ないでください……

す、すまない……
陰門いんもんを見るのは
初めてで、つい……
見惚れてしまった



すー

ドロツ♡



わ、私も……
見てみたいで
しょうございます♡



旦那様の……♡

?!



こ、これが…
殿方の…

ハ、ハハハッ…
思いの外少々
恥ずかしいものだな

がぁあー

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



あの…旦那様…
少し触って見ても
よろしいですか？

あ、ああ！
勿論だとも！

ドキ

ドキ

ドキ



し、失礼します

これが…
私の中に…
すごい…
いっ…?!

あっ♡

あっ♡

だ、大丈夫だ

ピクッ

か、皮が…!

?!

さ、横になつてごらん

本当に大丈夫なのですか？
怪我をされたのでは？

ハハッ、心配するではない
勃起しただけだ
気持ち良いという意味さ

そうそう
まぐわいの準備が
整ったってことだ

お、おとお
お嬢様!

ウォルメ
月梅夫人が
いらつしやい
ました!!

ぼ、ぼつき…?

おっ

アウツ





チュニヤン
春香は中におるか

いいいらっしやいませ
奥様…



お、お嬢様は
今不在中で
ございます

ドキ
ドキ



不在中ね…



香丹、お前も
知つての通り、
春香は将来
この地方一の妓生に
なるべき子じや

習い事を怠っていないか
従者のお前がしっかりと
見張るのだぞ



戻れば
私が来ていたと
伝えてやれ

か、畏まりました



あ、それと…

夢龍^{モンリョウ}とか言う
貧乏^{ヤツ}兩班^{リョウバン}※の倅^{せがれ}は
近づけさせるな

出世は妓生に
なる方がずっと早い

母上の言葉は
気にしないで
ください

私には
旦那様だけ…

明日…

明日すぐ
漢陽^{ハンヤン}※へ出発する！

それでもし…
科挙試験[※]に合格したら
俺と夫婦の契りを
交わしてくれないか？

※兩班：昔の韓国で科挙の受験資格を
持つ支配階級のこと。
※漢陽：今のソウルを指す。
※科挙試験：官僚の登用試験。大学入試
などよりずっと重要。

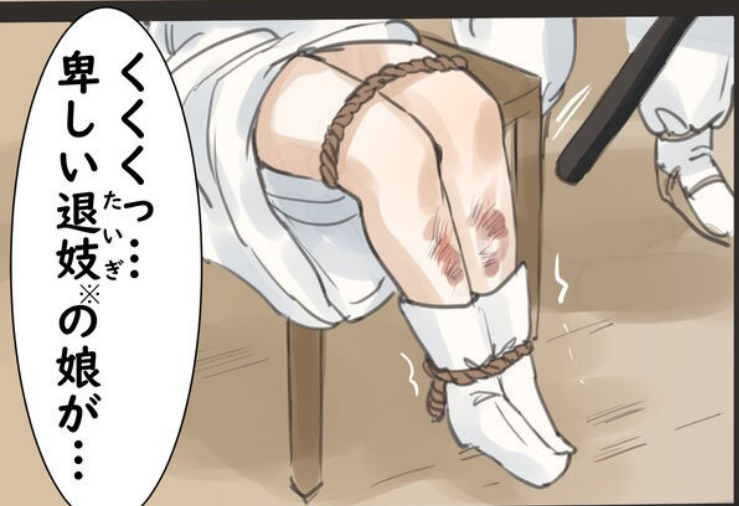


必ず
戻ってくる!!

その時が来るまで：
待っていて欲しい!!



操を立てるか



くくくつ…
卑しい退妓^{たいぎ}の娘が…



今日は特別に
離れ座敷に
閉じ込めておけ

はいっ

吏房^{りぼう}
※

ますます気に入った

グイッ

うっ

※退妓：引退した妓生。
月梅の「し」を指す。
※吏房：府使の補佐官を
指す役職名。



旦那様に会いたい…

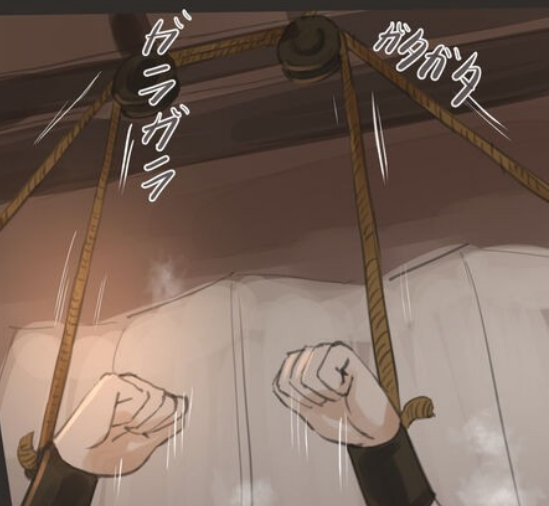


しかしどんなに辛かろうと… 私、耐えて見せます この試練の向こうに旦那様との幸せな未来が待っていると信じて…!!

どうかご無事で… 元気でいてくださいます

思ったより元気そうだな

これは一体 どういうことですか？



塩味がするの…
かなり汗ばんでいる

無理もない
もう三日も洗ってないしな

どうか…
これ以上は…
お止めになってください

すうーはあー
とても淫乱な匂いじゃ

離してください

ポルポル

あッ
うっ

ペロッ♡

あッ♡

くん
くん

ムギュームギュー♡

この膨らみ具合…
赤ん坊に含ませたら
大喜びになって
吸いつくことじゃろうなー

こんなに熟した体…
わしなら一瞬たりとも
手放さないがのう
くくっ…

ほら、早く
答えんか!!
お前の思い人の
名を言え!!

ううむ…
実に甘美な匂いじゃ
男を誘き寄せずには
いられない、そういう匂いじゃ

どれどれ…

そ…そこは…!!
どうかそこだけは
止してくださいまし
お願いです

ところで、
お前の思い人とやらは
一体どこにおるのじゃ?

あぁっ♡
スー

うん♡

絶対に…

旦那様のお名前を

口にしていけない…

うっ♡

スーハー

ドクン

ドクン

もし…
私のことで
旦那様が科挙試験に
落第でもしたら…

あぁ♡

しゅろ♡

びゅっ

臣たる者の忠節ほど
妻たる者の貞節にも
また重みがあることを
ご存じのはず…

他にお望みがあれば
何なりと従います
どうか…それだけは…
それだけは…!!

慈悲深い
府使様…

あゝ♡♡♡
うん♡♡♡

どうか
お願いします

私はまだ
男性を
知りません

一途な
思いで
愛しい
お方の
ため
今まで
ずっと
耐え
忍ん
できた
のです

クハハハツ!!
生意気な小娘じゃのう

チヨチユル
賤出※ごときが
君子※の道理を
語るか!!

あゝ♡♡♡
あゝ♡♡♡

※賤出:遊女出の妾から
生まれた子孫。
※君子:儒教の道徳を
身につけた教養人。

それに充実して
こそその貞節

わしに身も心も委ねよ
さすればその内分かる
至福というものが何なのか

そもそも
優秀な男を喜ばせ
子種をいただき
宿すことこそが
女の使命

女として享受できる
最大の特権がのう

止めてくださいれ…
そんな…ところを…
口でなんて…
こんなの…いやあ…

あぁ♡

あっ♡

あぁ♡

ギューツ

ちゅる♡

ちゅる♡

ちゅる♡

???

あぁ♡

あ…♡

あぁ♡

ペロツ♡

ペロツ♡

あぁ♡

あぁ♡

わしが
暴いてやる

お前の思い人とやらが
果たして

これほどの貞節を
尽くすに値する
男なのかをな…
くくくっ…

耐える…

おっっっ

おっっ

な…きや…あー

あゝあゝあゝ

耐え…

耐えるのよ春香
チユンヤン

うっ…
な…何なの
これは?!

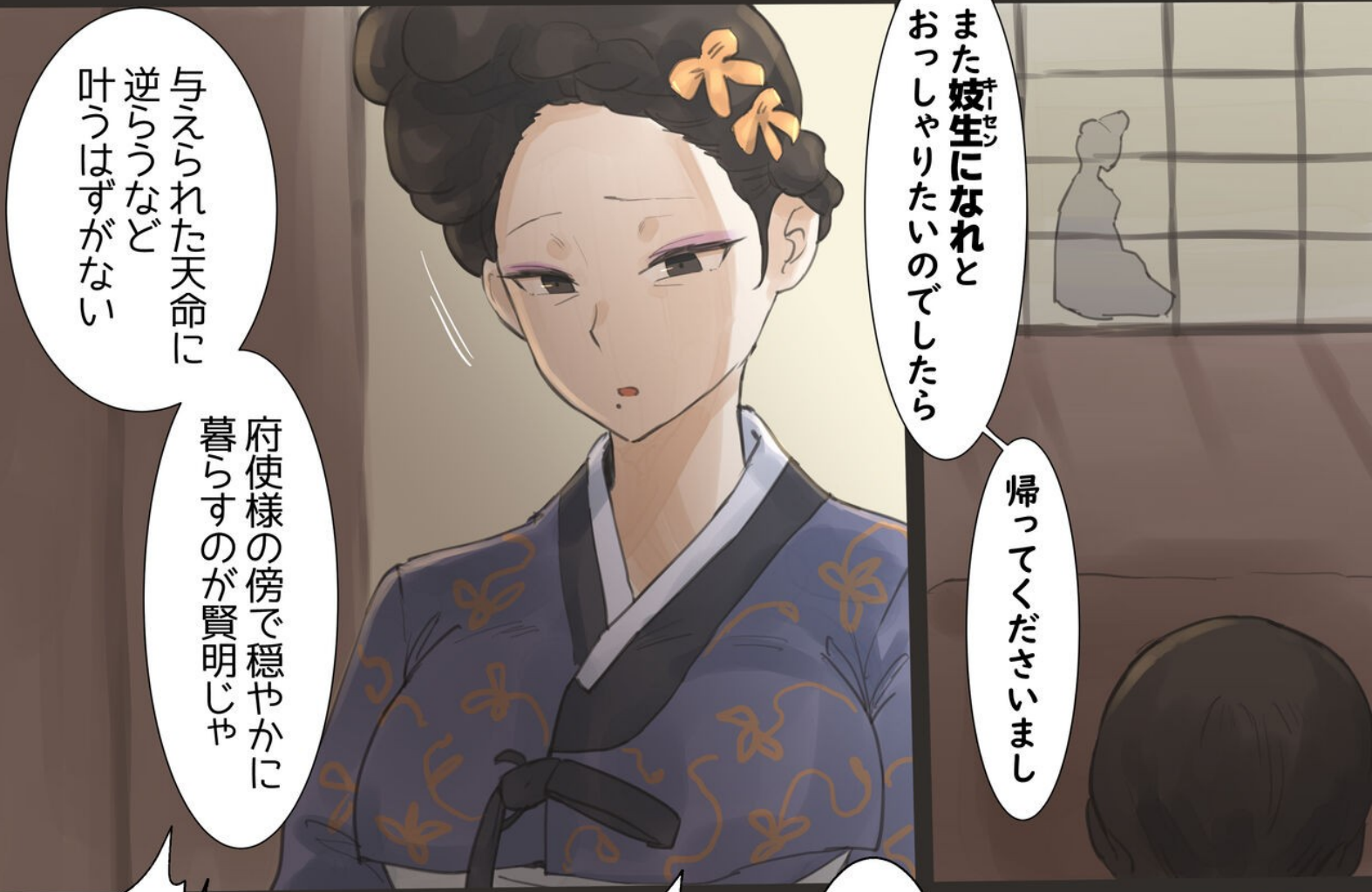
耐えなさい!!

プロ
シユ
シユ
シユ



貝合はべいじやん?

意地を張るのは
そこまでにせい



また**妓生**になれと
おっしゃりたいのでしたら

帰ってくださいまし

与えられた天命に
逆らうなど
叶はずがない

府使様の傍で穏やかに
暮らすのが賢明じゃ



この戯げが!
まだ分からねぬのか?
あやつはもうお主のことなど
とつくに忘れとる!

あやつは
今頃...!!

母上も...
捨てられた身では
ありませんか

妓生の天命とは
そういうものです

して…こんな夜遅く
どのようなご用件で
来てくださったのですか？

勿体ないお言葉…
ありがとうございます

妓生キセンの住まいにしては
立派な所じゃのう

罪人の母親に
それだけで貴重なお時間を
使ってくださいるとは…

お主の所の小娘について
気になることがあってのう
たまたま寄ってみただけじゃ

その往生際の悪さは
間違いない
父親譲りじゃろう

世間知らずのお前には
分かるまい

どうぞ
中に入れて
くださいませ

そう…

それでは…
薄汚い所ですが

退妓の私が
体を張ってやろう

ちやは♡

ちやばっ♡

おおっ♡

ずる賢い女狐め…
春香と将来を約束したという
若造の名を言え

知ってることを
洗いざらい全部
話してもらおうぞ

大した…んこのない…
奴婢でバグります!!

うっ…!!

府使様…

府使様あつ…!!

府使様とは…

比べにも

ならない…!!

お前の望み通り…

お前が班家※の夫人に

なれるよう…

ふ…府使様…!!

どうかお怒りを収めて

あの愚かな娘を

頂いてくださいまし!

あ♡

ちやばっ♡

※班家…両班の家筋。

その男の持つ
権力、名誉、財産
全てが手に入る

男など色に酔わせておけば
簡単に制御できる生き物

ああ♡

ドロ♡

女にしか許されない
この最強の武器を
どうして使いこなそうと
しないのじゃ

チニヤン
春香…
元気になっているかい？

僕はいつも
君のことを
想っている

まず自分のことを
心配することじゃな

間抜けな奴め

ボーン

…

ほら、^{チユニヤン}春香！
こんな所で何をしているんだい？
せっかく帰ってきたというのに

だ…旦那様…？

そう僕だ
すまなかった
ずいぶん待たせて
しまったろう？

さ、ここから出よう
僕と一緒に



ほら、^{サウナ}春香
早く起きて帰ろう
僕たちの居場所へ

旦那様…

あ

まだ物足りないか？

ジャラッ

ほれ

ジャラッ
ジャラッ

あ

あ

あ

あ

?!

そうかい、そうかい…
やはり奴婢というのは
嘘だったな

んっ!
も…夢龍でございます!
お嬢様の思入人は…
李夢龍と言います

科学試験で…
今は漢陽に…
あん!

え…?
ま…まぐわ…い…?!

チヨチユル
ヤンパン
賤出と両班が
婚約をか…

さすればその内分かる
女として享受できる
最大の特権がのう

あん!
いい…
気持ち良い…!

ああ…府使様…
もうこれ以上は…!

ほれ、行けっ!!

おおっ

ビュル

ビュル

あ

ハハハハハ

ドクン

あ

んぢ

んっ

ぶ

ドクン

私は…まだ
夢を見ているんだろうか？

もういい
下がれ

お
お
お
お
お

厳かな国法を犯そうと
する男が朝廷の官僚を
目指している…
酷い話じゃのう

ドロツ
は、はいっ…
府使様…
ギョ

ビクッ
ムダ
？

確か…旦那様が
お帰りになられて…

大きい…

旦那様のものより
すつと…

この匂いは何?

ドクン
ドクン

ドクン

あ…皮が…
剥けて…

ドクン

こんなのを入れたら…
前みたい…?

ドクン

まぐわいの…
準備が整ってる…?
…私と…?

この袋は…何?
旦那様にも
こんなのが
あつたっけ?

ゲムツ

…え?
旦那様…?

まだ身の程を
弁えていない
ようだな

はっ!!
旦那様の
お名前が…!!



だがお前の母のことで
予定が変わった

うっ♡

うっ♡

他の女には見られない
貞節を高く買ったからだ

私がお前を
無理やり犯さない
理由がまだ分からないのか？

ま♡

スーウ

中に連れて来い!!

府使様!!
私が血迷ってました!!

私一人のせいで...

全て私が
企んだことです
どうかその子には
ご慈悲を...!!

皆が...



こんな遅い
時間に客か…

明日また
来てくだされ

※南原…夢龍と
春香の故郷

すぐ南原^{ナムワン}へ
出発して欲しい

続くー







下の玉も
忘れるな

めまいがするほど
強くて汚い匂い...

おおお...
これは中々...
だけど舌使いは
まだまだじゃな

そうそう
乳房はもっと寄せろ

ハハハッ
教え甲斐があるのう

うむ...
呑み込みが早いのう

手を休めるな
ちゃんと上下に動かせ

イモコ
李夢龍か...
くくくつ...

はあー

ん

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ハハハ

ハ

シッ
シッ
シッ

シッ
シッ
シッ

はあ
はあ
はあ

はあ

ううっ
ううっ
ううっ

あ
う

既に合格しているとしても
わしと張り合いたければ

あゝ

寛大な気分になっ
てしまおうのう

だけど
お前の乳房に
包まれると

くちゅん

わしがその気になれば
その若造を不合格にするのも
容易いこと

んぎゅん

御史※の馬牌※くらいは
持つてこないと
話にならないじゃろう

おあん

ぐゅん

あゝ

おあん

さあ
わしの子種じゃ
受け取れイ!!

ぐゅん

※御史:王の特命を受けた隠密検察官
※馬牌:御史の証

二年も戻っていない
ということとは
落第し続けている
ということじゃろうな

旦那様なら必ず
成し遂げて下さる

さあ
口を開ける

全部飲め

何年かかろうと...
必ず...

無駄な希望は
捨てるのが
身のためじゃ

夢龍モンリウの記憶は徐々に
お前の中から薄れてゆき

肉欲だけが残る
じゃろうからな

体は汚されても...

旦那様への...
想いだけは...

はあ
ぐゅっ
あ

オゴツ

オゴツ

オゴツ

ハア
ハア
ハア



怪しからん
牝穴だ

あん♡

内心気になって
仕方ないんじゃないろう

股を開け男を迎え入れる
その感覚がのう

男根を擦れるだけで
濡れ濡れだというのに
よく言えたものじゃのう

男根が欲しいと

陰核が膨れ上がったとる
男根を啜えただけで
交尾の準備が整っておるとは

ち、違います…
そんなことは…!!

うっ…また…
前みたい…

ほら、口にして
はつきり言って
見たらどうじゃ

我慢…
しなきゃ…

ああん♡

はあ♡

我慢…

どうか…中に…
入ってくださいませ

どうか…お許してください

私の不貞を…

…旦那様…

欲しいでござります…

男根が…

ドクン

ドクン

ドクン

やめ…!!

クハハハハッ これは
予想以上の一品じゃのう

痛…痛いです!!

ギニッ♡

おお…
いい締め具合じゃ…!!

い、痛っ…!!

ズブズブ…!!

大きすぎて…
中が火傷しそう…

うっっ…
うっっ…
苦…しい…

あ
あ
あ

じゅるーっ

どくっ

どくっ

はあ

ガク
ガク

奥の方がどんどん
わしに慣れていくのが
分かるじやろう？

本番が始まる前に
わしの形、重さ、
そして温もりまで

全部覚えるのじゃ

つまり…

じわーっ

あ
あ

はあ

はあ

締めりがどんどん
良くなっている…

じっとしてわしの形を
感じてみるといい



...

今出発しても一か月は掛かるだろうに... 船賃はちゃんと用意してください

わしの専用になるということじゃくくくっ

さあ頭を上げて見てみるが良い

お前の牝穴がわしの男根を啜えているのが見えるか?

痛い... 痛い... 痛いでジグゼンます

痛っ...!

女あ♡

あん♡

うむ...! 締め付け方が分かってきたようじゃのう!!

感じる... 府使様のものが... 中を搔き回しているのが...!

はあー♡

変...! こんな感覚...! 息... 苦しい...!!



安心せい
慣れるまで何回でも
付き合ってやろう

あぁ♡♡♡

あん♡

パンパン

痛みが徐々に
快楽に変わって
行くのが分かるか？

あん♡♡♡

ほん♡♡

ん♡♡

時の流れを
忘れてしまうほど

気を失って
取り戻すことを
何度も繰り返し

府使様はそれからも
まるで淫欲の獣のように
私の中を掻き回し続けました

パンパン

あぁ♡♡

そしてその日から
府使様は…

ドゥロツ♡

ずっとずっと府使様は
私の身も心も絶え間なく
貪り続けたのです

旦那様との思い出の場所を
教えると仰いました

あ♡

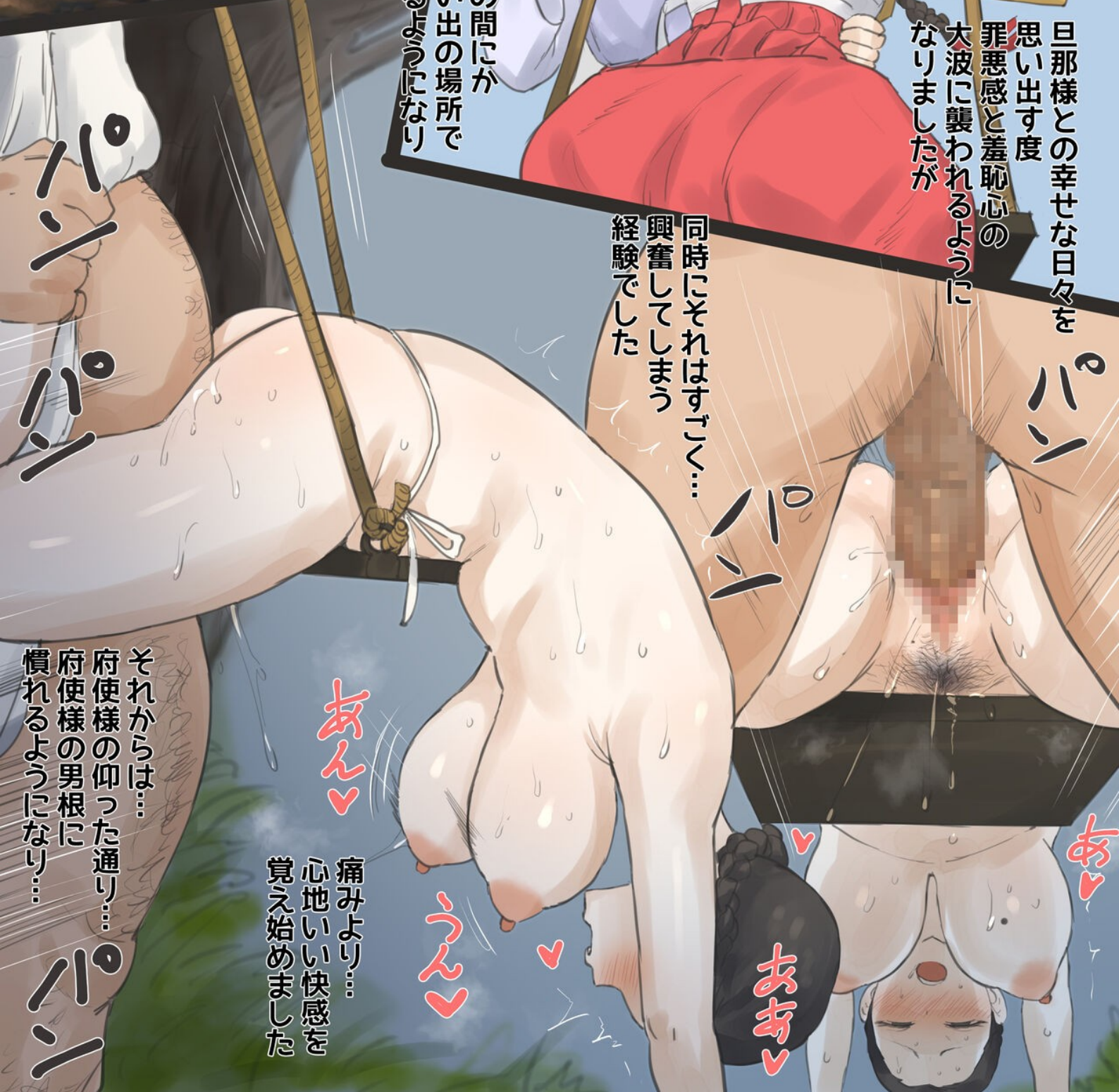
ん♡

気が付けば私はいつの間にか
次々と旦那様との思い出の場所で
府使様に可愛がられるようになり



旦那様との幸せな日々を
思い出す度
罪悪感と羞恥心の
大波に襲われるように
なりましたが

同時にそれはすく〜く…
興奮してしまう
経験でした



パン
パン
パン

パン
パン
パン

パン
パン
パン

あ♡

痛みより…
心地いい快感を
覚え始めました

ん♡

あ♡

あ♡

それから…
府使様の仰った通り…
府使様の男根に
慣れるようになり…

パン
パン
パン

耳の裏や乳首…陰核に
膣の奥の気持ちいい所まで

その全てが
目覚めさせられる感覚は
実に素晴らしい快感でした

自分で動いてみる
どんな気分じゃ？

とても…
気持ち良くて…!!

は、はいっ…
穴が…穴が
喜んでいます

少しづつ
私を蝕んで行きました

ああ…良い…っ!!
気持ち良いです
府使様…!!

次々と襲ってくる
恍惚たる快感の波は

パンパン

おん

ぐちゃ

ああ

ふにゅ

ああ

♡♡♡

♡♡♡

♡

♡

♡

♡

おっと
わしの許可無しで
達するのは許さんぞ？

もう少し慎みを
覚えるんじゃないな
くくくつ…

私が絶頂を迎える直前に
行為をやめるようになりました

府使様の男根を
求めてしまう
私自身でした

はぁ♡

あぁ♡

ずぼん♡

だけど…
ある日を境に
府使様は…

わがとぎうしているのだと
気づいてすごく悔しかったのですが
それよりももっと悔しかったのは…

ほれ
早く綺麗にせんか
今日は疲れているから
こんまでじゃ

旦那様との
思い出の場所でナニス

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



くははっ
すっかり上手に
なったのう

いつの間にか頭の中には
府使様との交尾だけが
浮かぶようになりました

こうして旦那様との思い出が
一つ一つ府使様との情欲で
塗り潰されていく内に

最後に絶頂を迎えてから
もう半月が過ぎたか…
くくくっ

ああ…
この男らしい雄の匂い…

何度嗅いでも
うっとりしちゃう…

あ…最高…!

穴が疼いて
仕様がな頃じゃな

ちゅっ

うっっ…

今日こそ必ず府使様を喜ばせて
今まで与えて下さらなかった
ご褒美を…!!

あ
はあ

ん

レロ
レロ

シッ

シッ

ん
スー
ハー

府使様…
いや、旦那様…!!

お願いします…
どうか私の体を…
私の牝穴の奥を…
もう一度掻き回して
くださいませ

卑しい退妓の娘の分際で
操を立てるなど
生気な真似をして
本当に申し訳
ございませんでした
一生旦那様専用の女に
なります
どうかもう一度…!!
もう一度あの快楽を
お与えくださいませ!!

口では何とも言える
お前がわしを裏切らない
という保障がどこにある?

ああ

サウリ

そんな…
滅相もございません!!
私はいつまでも
旦那様の忠実な牝犬です!!
子を孕めと仰るならば
身籠るまで何度でも
旦那様の子種を
お受け取りします…!!

どうかこの卑しい小娘に
旦那様にご奉仕できる
機会をくださいませ!!

僕たちが
将来を約束した場所…

戻るまでこんなにも
時間が掛かってしまう
とはな…



灯かりが?!

あらー
夢龍じゃない

本当久方ぶりねー

ウオルメ
月梅?!

夢龍様ー
おなご
女子が必要では
ありませんか?
十両でお相手
しますよ?

態度が違いすぎる
何があっただんだ?

長旅で疲れている
でしよう?
私たちが御持
て成ししてあげ
るわ

何を企んでいる?

何の真似だ!!

チユニヤン
春香は
どこにいる!!

チユニヤン
春香は今
とーっても忙し
くてね

?!

ほら
あそこに春香が
見えるじやろう？

あ
ああん
あ

ん
あん

パン
パン
パン

あれが春香だと？
馬鹿を言え!!

どうやら今日は
府使様の子を孕む
つもりらしい

もう何時間も
休まずに
腰を振っているのだから

春香があんな。。
あんな下品な声を出すはずが。。

ああ。。。いい。。。!!
気持ちいい。。。!!

太くて。。。
大きくて。。。
気持ちいい!!

チユツ

パチユ

パチユ

ほれ
お前が切実に待っていた
夢龍モンリウが帰ってきたようだぞ？

挨拶くらいしてやれ

オッ♡
オゴッ♡
オゴッ♡

?!

陰門と乳房のほくら...

間違いない...
春香だ...!!

でも...本当に...
お前なのか...?!
春香...!!

パン

パン

ニムニム!!

パン

夢龍との五年より…
府使様との一か月が…
もっと大切になっちまった…

本当に…
ごめんなさい…

府使様との不貞を…
楽しみました…

一か月の間…
ずっと…毎日毎日…

耐え切れなかった…

府使様の一物に…
掻き乱されて…

夢龍…
ごめんなさい…

ああ♡

おん♡

あ♡あ♡

パン♡

パン♡

パン♡

違う…
時間を掛けすぎた
僕が悪かったんだ!!

府使様の…
女になっちまったの…

あ♡

あ♡

ん♡

私は…もう…
すっかり…

もう少し…
もう少しだけ…

もう少しだけで
充分だったのに…!!

オ…オゴゴツ…
く…来る…!!

どうか…あなたの子宝を…
私に授けてくださいませ

ああ…嬉しいです
旦那様…

あつ…!!
行きそう…!!

感動的な再会じゃな…

ほれ
その記念にお前が欲しいがる
わしの子種をお前の中に
ぶちまけてやる

もうやめろオオ!!

行くっ…
行きそうです
旦那様!!

ああ
思う存分
行けエ!!



オオッ
キョッ
オオッ

キョッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

アメンオッサ
暗行御史のお出ました!!

四か月後

堂後

全く…訳が分からん…!!
未だに…!!

くくく…

そろそろ…
教えて差し上げないと
行けませんね

あれから随分
経ちましたし…

カハハハツ!!

くくく…

キキキキキキ

本物の馬牌!!
どうしてそれを
お前が?!

ただ：私はこれから生まれるだろう
子を想って夫を守ったに過ぎません

私は：旦那様の合格を
確信していました
ずっと信じていましたから

馬牌を偽物に
すり替えるため…!!

春香の差し金で…!!

ごめんなさい

いつも理性より
感情で動く方でしたから

ウオルメ ヒヤンタン
月梅と香丹の様子が
おかしかったのは…

まさか…
あの時…!!

旦那様を騙すのは
とても簡単でした

誰にも分かってもらえず
虚しく散ってしまっても
おかしくないでしょう

たとえ濡れ衣を
着せられた
ただだとしても

偽物の馬牌で
王命を受けた御史を詐称した罪…

嘘…だ…

春香…早く
その馬牌を渡してくれ…
今でも…遅くない…

まだ…間に合う…!!

そんなに悲しまないでください
旦那様…
世間的にはもう死人同然だとしても



キュン

旦那様がここで寂しい思いをしないように
三人で一生見守って差し上げますから

終わり